

# 緑のカーテン取り組み情報



お名前	富士川町役場（富士川町）		
育てた植物の種類	ゴーヤ		
設置場所	本庁舎南側 窓外		
カーテンの大きさ	高さ：約 5m, 幅：約 20m	取り組み年数	7年目

## 緑のカーテンの効果

- ・冷房の温度設定は、28度で心地よい状況を作り出した。
- ・室内から窓越しにゴーヤの成長を日々感じながら緑をみるのは、とても癒されるとともに、葉を通り抜ける風がより涼しくしてくれる。そのためか、2階では冷房を入れなければならない暑い時も、1階では冷房を入れずに過ごせることがあった。
- ・生茂った緑の葉は、アスファルトの照り返しも防いでくれる。
- ・「環境のまち富士川」を掲げていることもあり、その意識高揚ともなっている。

## 育てる際の工夫・苦労

- ・前年の緑のカーテンゴーヤから種を採取。環境担当職員が保存し翌年4月中旬からポットに植えて、毎朝毎夕水やりを行い、苗を育てた。4月から5月中旬までは、夜間はポットにビニールシートを掛けて寒さ対策をした。100個の種を蒔き、40本ほどの苗となった。（今年度から）
- ・緑のカーテンとして植える場所に、3月から草取りや肥料を入れるなどの土作りを2週間に一度程度の間隔で行った。
- ・肥料には、町の環境団体「エコ21」が推奨している「EM発酵液」を主に使った。エコ21の方々が、役場の緑のカーテン用にEM発酵液を提供してくれた。
- ・育成については、町の環境団体「エコふじかわ」から指導いただいた。
- ・毎日役場本庁舎1階の職員が順番に水やりを行い、EM発酵液をかけて育てた。
- ・葉の生育のため雌花や実をとるなど職員が学びながら毎日観察手入れをした。

## 感想・楽しみ方など

- ・管財課担当者がネットや肥料やりを、職員が順番で朝夕水やりを、町民生活課職員が葉の育成の手入れを行い職員皆で緑のカーテンの成長を支え楽しむことが出来ている。